

【オリコンサルグローバルが10周年記念式典 四つの戦略でさらなる成長を】



四つの戦略でさらなる成長を

オリエンタルコンサルタンツグループは7月28日、東京都新宿区のベルサール新宿グランドで創立10周年記念式典を開いた。役員ら130人が参加し、今後のさらなる発展に向けて決意を新たに示した。

同社は、前身であるオリエンタルコンサルタンツGC事業部が2008年にパシフィックコンサルタンツ

オリコンサルグローバルが10周年記念式典

インターナショナルから事業譲渡され、14年6月にオリエンタルコンサルタンツから分社独立した。

式典であいさつした米澤栄二社長は「通年でオペレーションした第2

期の決算売上高は約110億円、社員数も350人ぐらいいった。今年9月期は約320億円となる見込みであり、社員数はヘッドクォーターだけで約530人、現地法人を合わせると約1300人になる。この10年で売り上げも社員数も約3倍に成長した」と、この間の社業躍進を紹介した。

その上で世界的な企業ブランドへの成長を目指す2030年ビジョンの実現に向け、「欧米やローカルなど海外コンサルタントとのアライア

ンス強化、現地法人強化によるローカルビジネス拡大、M&A（企業の合併・買収）の推進、事業投資など新しいビジネスへのチャレンジの四つの戦略を実行していくことで現状の売上高を1.5倍以上に拡大する数値目標を持って取り組んでいく」と力強く語った。写真。

来賓の山田順一国際協力機構（JICA）副理事長は「わが国のODA（政府開発援助）予算もこの10年間で2倍以上に伸びている。鉄道事業を中心にメガプロジェクトもめじろ押しとなっており、今後ともパートナーとしてタッグを組みながらしっかり取り組みたい」と期待を寄せ、野崎秀則オリエンタルコンサルタンツホールディングス社長が「共にこれからも成長していきたい」と呼び掛けて乾杯の音頭を取り、祝宴に入った。